



令和 7(2025)年度 公益財団法人櫻谷文庫 事業計画

基本的考え方

櫻谷文庫は、木島櫻谷の居宅である和館、洋館、画室の建造物および櫻谷作品、習作、写生帖等、櫻谷収集の書画書籍類などの収蔵品からなる。また、建造物 3 棟は、国登録有形文化財、京都市景観重要建造物、京都市指定有形文化財に登録、指定されている。収蔵品については、櫻谷作品、習作、写生帳や画材、手紙類など櫻谷の制作に関わる資料類、さらに櫻谷の収集した中世から近代にかけての陽明学朱子学関係日本画関係書画、詩文集、書籍、典籍や、近代美術関係資料など一万点以上からなる。建造物、所蔵品の一般公開・展示、収蔵物資料等の調査、整理、データベース化のため、建造物の維持修復、収蔵品等の維持、修復、調査、研究を進める。これらにより、近代建築史、美術・美術史、芸術の振興、学術研究への寄与、京都市を含む地域振興をめざす。また隣接する学校法人ヴィアートル学園等と連携し、教育活動の推進のため協力、支援をすすめる。

公益目的事業

1. 春の櫻谷文庫公開展示 (独自)

・2025 年 4 月 26 日から 5 月 18 日に「櫻谷の日常。端午の節句」公開・展示。

期間 2025 年 4 月 26 日(土)～5 月 18 日(日)の土日祝 (11 日間)

公開収入 396,000 円

(内訳) 入場料 600 円×60 人/日×11 日=396,000 円

公益支出 396,500 円

(内訳) 人件費 11 日×5 人×6,500 円=357,500 円

事務用品費 4,000 円

印刷費 25,000 円

通信費 3,000 円

旅費交通費 2,000 円

雑費 5,000 円





2025年4月～7月 櫻谷関係展覧会

4月

5月

櫻谷文庫

6月

7月

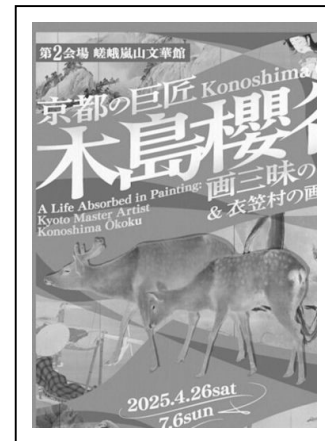
日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	泉屋博古館東京		17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	1	2	3

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	福田美術館		23	24	25
26	27	28	29	30	31	

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

- 泉屋博古館東京 ライトアップ木島櫻谷II
4月5日(土)～5月18日(日) 月曜日休館(5月5日開館、7日休館)
- 福田美術館 嵯峨嵐山文華館 京都の巨匠・木島櫻谷一画三味の生涯一
前期 4月26日(土)～6月2日(月) (「寒月」4月26日(土)～5月10日(土))
後期 6月4日(水)～7月6日(日)
展示替えの6月3日(火)のみ休館
- 櫻谷文庫(木島櫻谷旧宅) 特別公開
4月26日(土)～5月18日(日)の土日祝の11日間





2. 収蔵品の貸出し

・泉屋博古館東京

「ライトアップ木島櫻谷 II」展 2025 年 4 月 5 日～5 月 18 日 30,000 円

貸出内容

木島櫻谷 磯邊（浴衣）（調査番号 2429）

木島櫻谷使用の筆 一式 30,000 円

・福田美術館・嵯峨嵐山文華館 2025 年 4 月 26 日～7 月 6 日

「京都の巨匠・木島櫻谷～画三昧の生涯」展 135,000 円

貸出内容

木島櫻谷 孔雀（調査番号）

木島櫻谷 獅子（調査番号 11）

木島櫻谷 剣の舞（大塔宮）（調査番号 15）

木島櫻谷 峡中の秋（調査番号 17）

木島櫻谷 厩（調査番号 2413）

木島櫻谷所用 第 6 回文展賞状 入場券

菊池容斎 楠公村上義清図（調査番号 471）

3. 櫻谷文庫の随時公開 1.（独自）

京都市文化財マネージャー育成講座、立命館大学文学部京フィールドワーク講義、立命館大学アトリサーチセンター、京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科建築造形学部門演習など教育・研究への協力、併せて京都市 MICE 推進事務局に連携し、映画、テレビドラマロケに協力する。

公益収入 30,000 円

（内訳）大学講義演習関係 10,000 円 文化財マネージャー育成講座 10,000 円 他映像制作協力関係 10,000 円

4. 櫻谷文庫の随時公開 2.（独自）

随時公開については、グループ、団体等との時間調整の上実施する。

公益収入 10,000 円

5. 京都モダン建築祭への参加

パスポート公開 2025 年 11 月 1 日（土）、2 日（日） 利用料 30,000 円

6. 櫻谷文庫収蔵品の調査・整理デジタルデータベース化（共同）

2010 年から開始した収蔵品の調査は、櫻谷作品類、軸類、書籍の一部を 2010 年 2011 年に実施した。2012 年から写生帖 600 冊余、スケッチブック 200 冊余の全ページの調査は 2018 年に完了し 2023 年には一部について写生帖デジタルデータベースが公開された。2019 年から書簡類の調査、スキャンを開始した。概ね完了。



泉屋博古館実方葉子学芸部長、櫻谷文庫業務執行理事門田節の２名で実施する。

(ア) マクリ、下絵類

(イ) 書簡等 数千点以上の書簡類等の整理、調査、スキャンを継続する。

7. 収蔵物、建築物の修復保全等（独自）

(ア) 収蔵物、和館、洋館、画室の随時修理

(イ) 和館、洋館、画室の機械警備および消火設備点検

京都市補助金収入 107,000 円

セコム支払い 227,040 円

内訳（132,000 円（機械警備）、95,040 円（自動火災報知機設備点検））

8. 地域、美術系、学術教育、メディア連携と櫻谷文庫情報の拡散（独自）

等持院地域の観光スポットとの連携、衣笠地区の堂本印象美術館他美術系法人、地域の北区役所地域力推進室まちづくり推進担当、立命館大学、等持院、真如寺、平野の家わざ永々棟他との連携、京都への来訪者の多い首都圏でのPR強化のため京都市東京事務所、京福電気鉄道、JR 西日本京都交流推進委員会、JR 東海京都・奈良・近江文化情報事務局、京都市観光協会（京都駅観光総合案内所を含む）、京都新聞、KBS 京都、NHK 他との連携、情報提供を強化する。既存メディアだけでなく Facebook、X（旧 Twitter）等の活用、継続的情報発信による情報拡散を図る。本年は京都市北区制 70 周年となるため関連事業に協力する。

9. 所在不明の櫻谷作品の所在調査

所在が不明の「涼意」、「うまや」、「港頭の夕」、「孟宗藪」、「松籟」、「獅子（えもの）」について所在調査を継続する。

10. 木島櫻谷の墳墓の維持管理を実施する

収益事業等

画家入佐美南子氏（嵯峨美術大学名誉教授 油絵 二科会理事）の主宰する絵画教室に画室をアトリエとして、また地域在住者を主な対象とする整美体操教室（講師：井上敦子氏）に旧画室を教室として提供する。その他の事業として学校法人ヴィアトール学園との連携による教育支援活動を行う。洋画家浜哲郎氏に制作室として提供していた和館の一部について、教育、地域、美術芸術関係の活用を検討する。